

老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーンの概要

平成28年3月13日
全国老人クラブ連合会

I. キャンペーン概要

1. 推進期間 平成26年～28年(3ヵ年) 全国運動として推進
2. 実施内容
 - (1) 単位クラブ(自治会単位で概ね50人程度の団体)に「見守りサポーター」の設置
 - (2) 関係機関、団体と連携した高齢消費者被害防止活動
3. 重点実施地区

年度	都道府県 指定都市	実施市区 町村数	見守りサポーター数
26	10	35	6,574人
27	11	92	予定数(6,429人)
28	17	49	予定数(4,779人)
計	38	176	17,782人(予定数含む)

4. 見守りサポーター養成講座

原則4講座(各40分)

「見守りサポーターの役割」、「消費者トラブルの現状」、「DVD地域の見守り力」
「参加者による情報交換、意見交換」等

開催例:

- ・神戸市:警察と共催で3回の講座を開催。
- ・札幌市:独自の養成講座開設を契機に、消費者協会と連携して継続開催。
- ・群馬県:消費生活センター、警察と提携して出前講座の開催。

II. 見守りサポーターの役割と活動

1. 期待する役割
 - ① 情報を伝える
 - ② 困っているサインを気にかける
 - ③ 被害防止のため関係機関につなげる
2. サポーター内訳
女性リーダー45%、単位クラブ役員44%、若手会員18%、友愛活動員15%
3. 主な活動内容
 - ① 友愛活動における声かけ、見守り、情報提供(注意喚起)
 - ② 例会、サロン活動での被害防止啓発活動(情報提供、講演会企画等)

- ③ 防犯、被害防止等の地域パトロール
- ④ 警察59%、消費生活センター51%、行政42%、社協21%、その他(民生委員、自治会、地域包括支援センター)等との連携

2014年(平成26年)10月1日(水曜日)北海道新聞(朝刊)

高齢者の消費者被害防げ

札幌連が「見守りサポーター」養成

老人ク会員参加 道警など講義



札幌市老人クラブ連合会は本年度、高齢者を狙った悪質商法などの消費者被害防止を目的に「見守りサポーター」を養成する。市内3区で専門家を講師に招いた養成講座を開催。約100人をサポーターに認定する。相次ぐ高齢者の前払型入や契約トラブルの被害を未然に防げる地域づくりを目指す。

(札幌市報)

本年度から全国老人クラブ連合会(東)と全国都道府県、政令指定都市の連合会が3ヵ年計画で実施する高齢消費者被害防止キャンペーンの一環。

21の老人クラブで構成。おおむね80歳以上の会員2万6千人が加入する。キャンペーンでは、手廻、白河、中央区をモデル地区で指定し、10以上の養成講座を1回ずつ開催。各回とも食費

30人前後が参加し、道警や札幌消費者協会のスタッフなどから講義を受ける。高齢者を狙った現状の詐欺被害の現状、消費者トラブルの発生などを学ぶほか、関係が見られる高齢者

への対応法、警察や行政機関などへの連絡など見守りのノウハウを平日かけて準備する。終了後は認定証を交付。サポーターは日常生活の中で地域の高齢者の相談に乗ったり見守り活動を行う。

高齢者をターゲットにした消費者被害は全国的に増加。札幌市消費者センターによると、昨年度の市内60代以上の消費者被害相談件数は4765件で、この5年間で24%増加した。贈与食品を送りつけられた金品を請求されたり、インターネットの高額な利用料を求められるケースが多いという。

市連合会は今後サポーターを増やす計画で、小林恒男事務局長は「老人クラブが中心となり高齢者が見守り合う地域社会をつくらなければならない」としている。



LOCAL GOOD YOKOHAMA 4つの機能

地域課題解決プラットフォームローカルグッドヨコハマの仕組み

LOCAL GOOD YOKOHAMAは、市民の力を合わせて地域課題を解決する、ITプラットフォームです。



課題を知る / 投稿する / 投稿された課題を見る

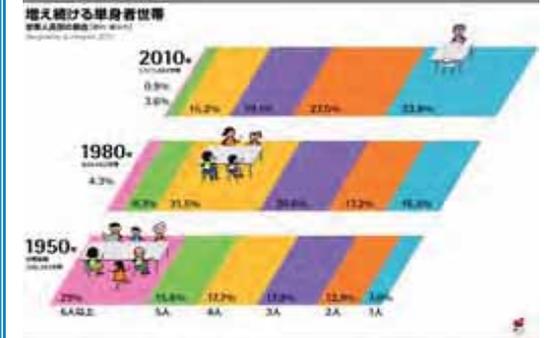
人口371万の政令指定都市・横浜には18の区があります。各区それぞれの取り組みや課題、子ども・若者、ダブルケア、郊外住宅団地の再生などのテーマごとの課題解決の取り組みを知るコンテンツを提供。

皆さんが気づいた課題をサイトとスマートフォンアプリから投稿できる機能もあります。投稿は集計し、地域の課題解決につなげていきます。



データを見る

横浜市オープンデータも活用し、各種のデータをイラストやグラフ等で分かりやすく「見える化」しています。



93 “色々な視点”で地域と関わる

「LOCAL GOOD YOKOHAMA」では、地域に住み・暮らす住民や企業、NPO法人などの民間主体が中心となって、顔の見える関係を大切にしながら、サービス、モノ、カネ、ヒト、情報の循環をつくっていくことを目指し、地域をよくする活動

「地域のGOOD=ステキないいコト」に多くの主体が参加するきっかけをつくっていきます。

<http://yokohama.localgood.jp>

LOCAL GOOD YOKOHAMA

検索

活動を知る

ローカルグッドプレイヤー



地域を良くする取り組みを取材記事やインタビューで紹介しています。

ローカルグッドニュース



参加できるイベント情報や市内各地の地域課題を伝えるエリアレポートも。

支援する



地域課題解決を目指すプロジェクトを掲載しています。必要な資金を多くの市民から集める「クラウドファンディング」と呼ばれる**仕組みで資金提供**をしたり、提供できる技術などを登録できる**スキルマッチング機能**をつかって、**仲間になる**ことができます。



資金提供者には金額に応じお礼を返します。募集期間内に目標金額が集まると、事業資金がプロジェクトの主催者に支払われます。

裏面で、誰もが気軽にこうした取り組みに、参加できる方法を紹介しています！

を使えば、誰でも気軽にローカルグッドな取り組みに参加できます。

○ 課題を投稿する

この辺、ゴミが多くて汚いなあ...

もうだ！ LOCALGOODに投稿してみよう

空き地が多くて、寂しいなあ...



あなたの声を「見える化」してみんなと共有！



○ LOCAL GOOD CAFE

立場や年齢に関係なく気軽に地域の取り組みや課題を話し合える場として、横浜の各地で「LOCAL GOOD CAFE」を開催しています。



これまでの開催テーマ
ダブルケア、地域作業所、商店街活性化など

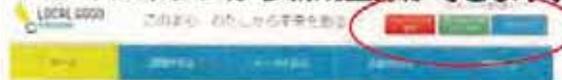
これまでの開催地区
旭区、瀬谷区、西区、港南区ほか

ローカルグッドニュースや、FACEBOOKページで開催情報を随時お知らせしています♪

★ユーザー登録のススメ

ユーザー登録をすると、気になるプロジェクトの支援が行えます。

「支援する」ページ>右上のログインボタンから新規登録ができます。



ユーザー登録により、「スキルマッチング」の機能も利用できるようになります。

○ クラウドファンディング

※プロジェクトの例



かながわ元気 エネルギープロジェクト

地域作業所「カブカブ」本出版プロジェクト



地域の課題を解決してお礼もGET！まさに一石二鳥♪

サポーターの募集について

ローカルグッドヨコハマの取り組みに賛同し、以下の4つの方法と一緒にこの取り組みを前進させる企業、団体、個人を募集しています。

掲載する記事を書く
コンテンツ制作

イベントの運営サポートをする
イベント企画・実施

クラウドファンディングの
伴走役になる

LOCAL GOOD YOKOHAMA
の仕組みづくり

★サポーターになるには？

- STEP1 説明会に参加
(WEBやFACEBOOKで随時情報をお知らせしています)
- STEP2 サポーター登録
活動費：¥1,000 / 年 (入会月より1年)
- STEP3 ユーザー登録&オンライングループへの参加
- STEP4 活動をスタートする

運営団体

□運営主体
非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ
神奈川県横浜市中区相生町3-61
泰生ビル2FさくらWORKS<関内>
045-664-9009
localgood@yokohamalab.jp

□メインサポーター
アクセント株式会社 コーポレート・シチズンシップ
「若者の就業力・起業力強化」チーム
当サイトの企画・立ち上げに、プロボノとしてご支援いただいています。

横浜市政策局
共創推進室には「共創案件」として、企業などとの連携調整、政策支援センターには、企画立案、データ収集・提供、オープンデータやデータビジュアライゼーション関連の仕組みづくりについてご支援をいただいています。

最新の情報はWEBやFACEBOOKページで随時発信しています！

LOCAL GOOD YOKOHAMA

検索

